

科目名	多文化ソーシャルワーク					開講 キャンパス	神 埼
担当者	酒 井 出・マーク・ハドソン・田 中 豊 治						
開講年次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	本授業は、社会に存在する多様な文化や価値観について人類学、社会学、社会福祉学の観点から説明する。また、多文化を背景とする事例についてのディスカッションを通して、多様性を尊重した物事の捉え方への理解が深まるよう授業を展開する。						
授 業 の 到達目標	1) 社会に存在する多様な文化・価値観を知る。 2) 人類学的観点での多様性を理解する。 3) 社会学的観点での多様性を理解する。 4) ソーシャルワークにおける多文化理解の必要性を理解する。 5) 日本社会におけるマイノリティと社会問題について理解する。 6) 多様な文化背景をもつ人々への社会福祉活動について知る。						
学習方法	講義、ディスカッション						
テキスト及び参考書等	テキストの指定なし。適宜資料を配布する。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	◎	○	○			70
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度		○	◎				30
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション・多文化とソーシャルワーク（担当：酒井）						
第 2 週	人類の多様性 1（担当：ハドソン）						
第 3 週	人類の多様性 2（担当：ハドソン）						
第 4 週	「日本の文化」とは何か？（担当：ハドソン）						
第 5 週	アイヌの歴史と生活（担当：ハドソン）						
第 6 週	アラスカ先住民と医療福祉の問題（担当：ハドソン）						
第 7 週	アジアの社会と文化（担当：酒井）						
第 8 週	タイの地域社会（担当：酒井）						
第 9 週	タイの社会福祉（担当：酒井）						
第 10 週	タイの仏教寺院内における高齢者の地域福祉活動						
第 11 週	アジア市民社会論（担当：田中）						
第 12 週	アジア市民社会論とグローバル化（担当：田中）						
第 13 週	アジア市民社会論と「アジア学」（担当：田中）						
第 14 週	アジアの時代における福祉人材教育（担当：田中）						
第 15 週	アジアで活躍する福祉 NPO と NGO（担当：田中）						
第 16 週							
備 考	<平成21年度以前入学生対象>本授業は、「欧米福祉事情」の読み替え科目です。 本授業は、オムニバス形式のため各教員の担当授業数の1/3以上欠席した場合は、成績評価は行いません。 事前学習：講義終了時に10分ないし15分程度に於いて次の予習課題を出す。 事後学習：講義の最初に予習課題の確認テストを行う。						